

原 明 議員（代表質問）

1 平成27年度予算編成にむけて

- (1) 市長就任2期目にあたり、この1年の思いと反省点、また新年度への抱負について
- (2) 各委員会の行政視察に際し、市職員の同行派遣の復活について
- (3) 地域振興券（プレミアム商品券）の発行について
- (4) 青雲閣の耐震化補強工事の整備計画と東福寺野自然公園の駐車場整備について

2 文化・伝統・郷土芸能の伝承について

- (1) 後継者不足により、存続が懸念されている保存会等の育成の取り組みについて
- (2) ふるさと龍宮まつり、古代神踊り街流しへの参加者増加に向けて、各種団体の協力要請をすべきではないか。

3 農業の振興について

- (1) 多面的機能支払い制度の取り組みについて
- (2) 有害鳥獣対策について

4 教育環境の整備について

- (1) 小・中学校の教育備品の整備、教育環境施設整備について
- (2) 東部小学校グラウンド周辺のネットフェンスの整備について

5 観光振興について

- (1) 北陸新幹線開業に伴う経済波及効果と開業後の滑川市の観光について
- (2) 「世界で最も美しい湾クラブ」に富山湾が加盟したが、滑川市での取り組みは。

浦田 竹昭 議員（代表質問）

1 平成27年度予算編成について

- (1) 平成27年度予算編成の基本方針について
- (2) 平成27年度主要政策課題と目玉事業について
- (3) 平成27年度の歳入の見通しについて
- (4) 地方創生政策に関わる対応・取り組みについて

2 児童館の建設・整備について

- (1) 児童館の建設・整備に伴う議会要望の取り扱いについて
- (2) 児童館の建設・整備の現状・進捗状況並びに今後の計画実施の予定について
- (3) 議会及び市民の意見・要望に対する対応と反映について

3 並行在来線の新駅設置について

- (1) 並行在来線の新駅設置構想への取り組みの現状について
- (2) 新駅設置候補地の絞り込みと今後の取り組みの予定について

4 中滑川駅周辺整備について

- (1) 中滑川駅周辺の敷地の近況・状況について
- (2) 中滑川駅周辺の整備の構想について

5 滑川駅前市営住宅の取り扱いについて

- (1) 滑川駅前市営住宅の対応状況と近況について
- (2) 今後の整備計画の取り組み予定と再開発構想について

6 都市計画マスタープランの策定について

- (1) 都市計画マスタープランの策定の現状について
- (2) 住民からの意見聴取と、その要望に対する反映について
- (3) 今後のタイムスケジュールについて

7 東福寺野自然公園の改善計画と利用料金の見直しについて

- (1) 東福寺野自然公園の駐車場の増設整備について
- (2) 自然公園、及びパークゴルフ場利用料金の見直しについて

8 みのおテニス村について

- (1) みのおテニス村の屋外トイレの改修の見込みについて
- (2) みのおテニス村の利用料金の見直しについて

古沢 利之 議員（代表質問）

1 海岸保安林等の松枯れ被害について

- (1) 被害の状況は把握されているか。
- (2) 被害の拡大を止める実効性ある対策を早急に進めるべきだと思うが。
- (3) 保安林以外の被害木への対応策はどうか。

2 米価低下の対策について

- (1) 「ナラシ対策」で補てんされる生産者は市内でどれくらいか。
- (2) どれくらいの金額が補てんされる見通しか。
- (3) 前倒しで実施するように求めるべきではないか。

3 教育支援について

- (1) 就学援助の対象基準は新年度も従前どおりか。
- (2) 貸与制になった市の奨学資金を給付制にし、拡充すべきではないか。

角川 真人 議員（一般質問）

1 介護予防について

- (1) 現在、交流プラザで行っている介護予防通所事業を、移動手段を持たない方のため、まちなかで行うのはどうか。
- (2) ご近所に遊びに行く感覚で参加できるように、まちなかにある空き家を利用して民間の事業所に委託してはどうか。
- (3) 民間の事業所でも行いやすくするために、滑川市市街地空き地空き家活用支援事業の対象に加えてはどうか。

2 通学路の安全について

- ・ 通学路の歩道が暗くて心配だという声がある。歩道灯を研究してみてもどうか。

高木 悦子 議員（一般質問）

1 住宅密集地での除雪並びに排雪対策の拡大を求める

- (1) 除雪に関する、滑川市の自助、共助、公助の考え方を問う。
- (2) 高齢化による自助の限界と、空き家の増加により共助が成り立たない地域ができています。それらの地域へ公助の手を差し伸べる必要があるのではないかと。
- (3) 町内会などによる除雪機の購入費補助制度（共助の一つ）があるが、排雪が困難な住宅密集地域では除雪機だけでは対応できない。豪雪時の排雪を含めた支援策を市民の皆さんに明示できないかと。

2 プロポーザル方式採用の是非を問う

- (1) 滑川市ではプロポーザル方式の入札運用ガイドラインを制定・公表しているかと。
- (2) 過去10年間における、プロポーザル方式の採用状況と、それぞれの応募企業数はどうなっているかと。
- (3) プロポーザル方式を採用する、そもそもの目的は何か。
- (4) 「滑川市総合体育センターアリーナ空調設備設計・設置工事プロポーザル」の経過・概要について問う。

3 後顧に憂いを残す児童館にならないか

- (1) 児童館建設室が設けられる以前に、児童館の基本設計のあらましができ上がっていたように見受けられる。児童館建設室設置前に児童館の設計について、子ども課が主導していたのか、営繕課が主導していたのか。
- (2) 総務文教委員会協議会の中の質疑において、児童館建物の八角形の形

状について、子どもたちの「安全」を優先するよりも、シンボリックな建物という「意匠」を優先した回答があった。設計士の「意匠」にこだわった結果、その後何十年にも渡って現場が使いにくい建物とならないか。

- (3) 児童館の運動場エリアでの「田んぼ」「泥遊び」に対する市長の執着があるようだが、砂場の砂を消毒したり、農薬に犯されていない泥遊び用の土を用意したりして、子どもたちの安全を確保している実態を理解しているか。
- (4) 外遊びのエリアが十分に確保できていない中、田んぼを残すというのは、優先順位が違っていかないか。
- (5) 総合体育センターでさえ空調を整備するのに、児童館に空調を整備しないのはなぜか。

4 人権侵害に対する市長並びに幹部の意識を問う

- (1) セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、モラル・ハラスメント、いじめ…、これらが「人権侵害」であるという認識を、市役所全体で共有できているか。また、滑川市役所内にパワハラ、セクハラ、いじめなど「人権侵害」の実態はあるか。
- (2) 滑川市役所において、どのような人権教育が行われているか。管理職チェックや職場環境チェックは行われているか。
- (3) 人権啓発講演会の市長挨拶で、父親からげんこつで殴られた話を引き合いに出して、しつけのためには体の痛みを伴うことも当たり前といったことを紹介していたが、市長自身、子育てや夫婦の仲で、しつけや指導であれば手を上げることは認められることという認識か。
- (4) 今年9月議会の市長答弁について
 - ア 「いわゆる浮気をつくった子ども、四十数万人の赤ちゃんが世の中を見ないで処理されている」という発言は、そもそも事実ですらないが、人権侵害に当たるという認識は無いか。
 - イ 「離婚者はもう子どもを産まないからね。子どもを1人ぐらい産んで、若い人の離婚、いっぱいあるんですよ、今。しょっちゅう見ますよね、新しい離婚者。」という発言は、人権侵害に当たるという認識は

無いか。

ウ 「新入職員の教育の中で申し上げるのでありますが、早いうちに結婚して早いうちに子どもを産んでくれと」という発言は、人権侵害に当たるという認識は無いか。

エ 「晩婚化と遅いほどDNAの傷からなかなか健康な子どもが生まれてこない」という発言は、人権侵害に当たるという認識は無いか。

オ 「不育症が起きるのも、この遅いときに産む子の中にそういう子が出てきているんだらうと、このように思っております。」という発言は、人権侵害に当たるという認識は無いか。

(5) 心にゆとりが無ければ、向上心も生まれえない。滑川市役所は、市民の皆さんの人権にも配慮でき、最高のサービスが提供できる職場環境になっているか。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 人口の減少対策について

- (1) 滑川市の人口を減らさないための対策はいかに。
 - ア 合計特殊出生率や出生数の目標は。
 - イ 結婚する人を増やすため、市で仲人ボランティアグループを募集しては。
 - ウ 県外の大学や就職を希望して転出した人に、もう一度滑川市に戻ってもらうために「カムバックふるさと就職基金」を設立しては。
 - エ 子育て応援のため、同居のすすめと同居応援のためのプレゼント（ナメリカード）の支援をしては。
 - オ 子育て世帯と祖父母世帯が近くに住み助け合う「近居」を後押しする考えは。また住宅購入費や転居費用の一部助成を。
- (2) 国が掲げている地方創生に、滑川市は「安心子育て宣言都市」または「人口を減らさない対策宣言都市」を掲げては。

2 市民施策について

- (1) 市長公約にあった中学生のシャンバーグ派遣はいつか。
- (2) 平成25年9月議会に可決された高齢者のパークゴルフの利用料金の値下げは、今後どのようになるか。
- (3) 市の封筒に民間企業の広告宣伝を募集しては。
- (4) 滑川室内温水プールについて
 - ア 滑川市が補助金を出している施設が、消費税8%になったことに便乗値上げはいかがなものか。料金設定に市は関与できないのか。
 - イ プールの運営審議会に議員が参加していた時期もあったと聞いているが、なぜ外したのか。現在はどのようなメンバーか。
 - ウ 補助金を出しているのに、議会に決算報告や利用者数の報告もないが、市は要求していないのか。
 - エ スポーツ少年団の施設利用料金が無料になっているが、幼児期の体力作りのため、幼・保育園児、また、障がい者の方の健康維持のため、利用料金を無料にしては。
 - オ プールの開設から20年が経っている。大切な税金で補助金を出して

いるが、契約内容の見直しをしたらどうか。

谷川 伸治 議員（一般質問）

1 シャンバーグ市との姉妹都市交流事業について

- (1) シャンバーグ市との姉妹都市交流事業は、現在どこの部署で検討されているのか。進捗状況は。
- (2) 今後、中学生を中心とした相互交流の方針で、事業計画を進めていくのか。
- (3) 相互交流を継続した事業とするためには、受け入れ先のシャンバーグ市へ出向き、詳細な打ち合わせが必要ではないか。

2 滑川市の住まい・まちづくり計画について

- (1) 公的住宅の状況及び入居状況について
 - ・ 市営住宅（駅前住宅を除く）の入居率は100%で、特定公共賃貸住宅は32戸に対し入居は18戸で約56%である。しかし、定住促進住宅（上小泉を除く）の入居率は40～50%である。今後の入居の見通し及び入居率を上げるための施策について問う。
- (2) 平成19年に制定された住宅セーフティネット法（低額所得者だけでなく、高齢者、障害者、子育て世帯等に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律）に対し、本市はどのように取り組んでいくのか。
- (3) 荒俣住宅の障がい者対応住宅は8室であり、今後増える高齢者等に対し、住宅の供給をどのように対応していくのか。
- (4) 射水市では平成25年1月に空き家実態調査報告書をまとめ、空き家の所有者に対する意向調査（賃貸または売却希望及び公的に活用したい）をし、空き家活用を促進する資料としている。
滑川市住宅マスタープランは、平成13年度に作成して13年が経過しようとしている。
平成27年度に、空き家の有効活用を含めた住宅マスタープランを作成してはどうか。

青山 幸生 議員（一般質問）

1 滑川市の観光について

- (1) 北陸新幹線の開業に向けた新たな取り組みはあるか。
- (2) 3月議会で質問したキラリンの絵本化について、具体的な進捗状況はどうか。
- (3) キラリンを使った商品開発等に使う使用申請書等の手続を撤廃し、個人・法人が自由に使用できるようにしてはどうか。
- (4) 深層水トマトやブドウ・リンゴなど、滑川ブランドは将来どういう形で販売していくのか。
- (5) 滑川市と滑川市観光協会のホームページのアクセス件数の推移はどうか。

2 安全な通学路について

- (1) 除雪計画道路に指定されていない通学路は、何か所あるか。
- (2) 6月議会で質問したスクールゾーンについて、調査研究の進捗はどうか。
- (3) 市道滑川中央線の柳原新町交差点の信号機が変更され、多少の混乱があったと聞いたが、今後も同様の信号機が増えることはあるか。また県警との連携はどうか。

3 人口増加について

- (1) 現在、滑川市における人口増加についての取り組みはあるか。
- (2) ソフトサービスの積み重ねで、人口増加につながると思うがどうか。
- (3) 人口増加について、企画政策課内でプロジェクトチームを作れないか。

中島 勲 議員（一般質問）

1 地域資源を活かしたまちづくりについて

- (1) 3年計画で実施された「歴史と文化の薫るまちづくり事業」が終了するが、ハード・ソフト各々における総括をどのようにしているのか。
- (2) 市長提案理由説明に「歴史ある滑川の宿場町」とあるが、具体的に何を指しているのか。
- (3) 通称「歴史まちづくり法」についての当局の見解は。
- (4) 都市計画マスタープランにおける位置づけをどのように考えているのか。
- (5) 「地域おこし協力隊」を採用すべきと思うが、当局の見解は。
- (6) 歴史の再把握と文化財の掘り起こしを行い、地域資源として保存・活用の方針を示す基本構想を策定すべきと思うが、当局の見解は。

2 教育の向上について

- ・ 児童（小学生）に対する文化・芸術に関する事業を充実すべきと思うが、当局の見解は。

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 公会計について

- (1) 固定資産台帳について
- (2) 統一基準による財務書類について
- (3) 公会計の活用について
- (4) 公共施設等総合管理計画について

2 人事制度について

- (1) 今後の再任用制度について
- (2) 人事制度設計と公開について

3 安心・安全なまちづくりについて

- ・ コンビニにAEDを設置してはどうか。

水野 達夫 議員（一般質問）

1 土曜授業について

- (1) 11月4日付けで実施された土曜授業に関するアンケートについて、先生、児童・生徒、保護者、各種団体等それぞれの集計結果は現在集計中とあったが、その概要はどうだったのか。
- (2) 5月からこれまで実施した土曜授業に関しての成果と課題は主にどのようなものが挙げられるのか。
- (3) 次年度以降の実施予定はどうか。また、県内他市町村の次年度以降の対応はどのようなになるのか。

2 子ども図書館について

- (1) オープンはいつか。また、職員等の人員配置はどのようなになるのか。
- (2) 子ども図書館の「子ども」の対象年齢は、何歳から何歳までか。中高生の保護者等から交流プラザへ問合せが来ていると聞いているが、中高生の居場所はどうなるのか。

3 地域防災対策について

- (1) 現在までの防災士の登録人数は何人か。また、地域での防災意識の啓発に防災士を活用する仕組みづくりが必要ではないか。
- (2) 市民の方々に対する防災知識の啓蒙活動がこれまで以上に必要だと思う。例えば、「防災数値目標」を掲げた啓蒙活動も必要ではないか。
- (3) 災害時における「自助・共助・公助」の役割分担を明確にする必要があるとともに、少子高齢化社会において地域の安全を守るためには、自助と共助の間に「近助」の仕組みを作ることが不可欠だと思うがどうか。

4 職員のメンタルヘルス及び採用計画について

- (1) 職員のメンタルヘルス対策に関して、これまでの取組実績はどうか。また、今後の取組内容はどのようになるのか。
- (2) 年金支給開始年齢の引き上げに伴い、再任用制度の確実な制度設計が必要だと思うがどうか。
- (3) 来年度の新規職員採用計画はどうか。また、再任用及び再雇用での雇用人数はどうか。